

疾病の成り立ちと回復の促進

疾病の成り立ちと回復の促進

目標Ⅰ. 健康から疾病を経て回復に至る過程について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 健康の維持増進	A 疾病の予防・早期発見	a 健康診断、健康診査	臨床検査：第1章 C-1「スクリーニング検査」(p.9～10) 医学概論：第8章 C「定期的健康診断」(p.132～133)、D「予防的定期的総合健診の意義」(p.133～137) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第5章 C-3「生後1か月健康診査に向けた退院時の看護」(p.303～306) 病理学：第5章 C-4「予防接種」(p.92) 医学概論：第8章 B-2「防疫——感染症の予防」(p.126)
		b 予防接種	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第3章 A「生活行動のなかで健康行動を生みはぐくむ援助」(p.88～94)、第4章 B-2「職場におけるヘルスプロモーションを促進する看護」(p.169～180)、第10章「学習者である患者への看護技術」(p.257～272) 医学概論：第3章 2「健康に対する個人と社会の責任」(p.51)、第8章「病気の予防」(p.122～139)
		c 健康教育	
2 疾病の成立と疾病からの回復	A 疾病の要因	a 内因、外因	病理学：第1章 B「病気の原因」(p.6～11) 病態生理学：第1章 A-2「正常性をゆがめる要因」(p.2～4) 医学概論：第4章 B「病気の原因」(p.59～68)
		b 生活習慣	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 C「生活行動がもたらす健康問題とその予防」(p.169～180) 栄養学：第10章 A「食生活の変遷と栄養の問題点」(p.244～247)、B「生活習慣病の予防」(p.247～248) 病理学：第1章 B「病気の原因」(p.6～11) 病態生理学：第1章 A-2「正常性をゆがめる要因」(p.2～4) 総合医療論：第3章 C「疾病の一次予防と健康増進」(p.73～77) 社会保障・社会福祉：第8章 F-1-2「疾病構造の変化とケアからケアの医療へ」(p.242) 基礎看護学 [1] (看護学概論)：第3章 E-4-2「ストレス」(p.133)
		c ストレス	成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第2章 A-1-2「日常生活の状況」(p.48)、第5章 B「健康バランスに影響を及ぼす要因」(p.164～169) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章 C「ストレスと健康の危機」(p.39～45) 総合医療論：第3章 F-1-1「ストレス」(p.90)
	B 生体の回復	a 回復過程	病態生理学：第1章 A-3「正常への回復に影響する要因」(p.4)
		b 回復に影響する身体的／心理・社会的要因	病態生理学：第1章 A-3「正常への回復に影響する要因」(p.4)

目標Ⅱ. 疾病の要因と生体反応について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 基本的な病因とその成り立ち	A 細胞の障害	a 萎縮、変性、肥大	病理学：第2章 A「細胞の損傷と適応」(p.14～23) 病態生理学：第1章 C-1「細胞の損傷と適応現象」(p.9～10) 医学概論：第5章 A-2「進行性の変化」(p.77)、A-3「退行性の変化」(p.77～78)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 壊死（ネクローシス）とアポトーシス	病理学：第2章 A-3「細胞の死」(p.19) 病態生理学：第1章 C-2「細胞の死」(p.10~11) 医学概論：第5章 A-3-3「壊死」(p.78)
		c 創傷と治癒	病理学：第2章 B「組織の修復と創傷治癒」(p.23~26) 病態生理学：第1章 C-4-2「創傷治癒」(p.13) 臨床外科看護総論：第1章 E「創傷治癒」(p.34~52) 救急看護学：第6章 O「創傷処置」(p.341~342) クリティカルケア看護学：第3章 I-1-3「創傷の治癒過程」(p.99)
	B 生体の障害	a 循環障害、臓器不全	成人看護学 [3] (循環器)：第3章 H「ショック」(p.44~46) 病理学：第3章「循環障害」(p.28~48) 病態生理学：第1章 B「循環障害」(p.4~8) 救急看護学：第5章 D-1「ショックとは」(p.192~195) クリティカルケア看護学：第3章 D「循環障害とケア」(p.63~70)、G「多臓器障害とケア」(p.85~93) 医学概論：第5章 A-1「血行障害による病変」(p.72~77)
		b 炎症、損傷	病理学：第4章 A「炎症とその分類」(p.50~54) 病態生理学：第1章 C-4「炎症」(p.12~14) 薬理学：第4章 B「炎症と抗炎症薬」(p.118~124) 微生物学：第7章 A-6「炎症性サイトカインと急性期反応」(p.103) 臨床外科看護総論：第1章 C「炎症」(p.21~25)、第2章 C-1「外傷」(p.63~67) クリティカルケア看護学：第3章 A-2「侵襲に対する生体反応」(p.43~48)、I「損傷とケア」(p.98~105) 医学概論：第5章 A-4「炎症」(p.78~85)
		c 免疫異常、アレルギー	成人看護学 [11] (アレルギー)：第2章 C「アレルギーのしくみ」(p.21~25)、第4章「症状と疾患の理解」(p.36~46) 成人看護学 [11] (膠原病)：第2章「自己免疫疾患とその機序」(p.98~102)、第3章「症状とその病態生理」(p.104~109)、第5章「疾患の理解」(p.124~150) 病理学：第4章 B「免疫と免疫不全」(p.54~60)、D「アレルギーと自己免疫疾患」(p.61~69) 病態生理学：第3章 C「免疫反応の過剰」(p.46~54) 微生物学：第7章 B-7「アレルギー(過敏症)」(p.124)、B-8「自己寛容と自己免疫」(p.124)
		d 内分泌・代謝異常	成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A「内分泌疾患」(p.82~132)、B「代謝疾患」(p.132~184) 生化学：第17章「代謝の異常」(p.252~263) 病理学：第6章「代謝障害」(p.94~104)、第15章「内分泌系の疾患」(p.276~286) 病態生理学：第10章「内分泌・代謝のしくみと病態生理」(p.196~220)
		e 廃用症候群	成人看護学 [10] (運動器)：第5章 K「廃用症候群」(p.188) 老年看護 病態・疾患論：第6章 B「寝たきり患者のリハビリテーション」(p.280~281) 病理学：第7章 A「個体の老化と老年症候群」(p.106~107) リハビリテーション看護：第3章 B-3「骨折のリハビリテーションプログラム」(p.94~96)、B-4-2「関節拘縮」(p.102~106)、B-4-3「筋萎縮」(p.106~115)、第4章 A-5-2「運動障害」(p.148~164)、B-5-1「運動障害」(p.201~218)
		f 老年症候群	老年看護 病態・疾患論：第2章「老年症候群」(p.38~79) 病理学：第7章 A「個体の老化と老年症候群」(p.106~107)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		g 遺伝子異常、先天異常	<p>病態生理学：第1章 G-1-2「個体の老化」(p.24~25)</p> <p>小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第1章「染色体異常・胎内環境により発症する先天異常と看護」(p.2~14)</p> <p>生化学：第19章「先天性代謝異常」(p.292~296)</p> <p>病理学：第8章「先天異常と遺伝子異常」(p.116~134)</p> <p>病態生理学：第1章 F「先天異常と遺伝子異常」(p.21~24)</p>
		h 腫瘍	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 A-2「脳腫瘍」(p.146~151)</p> <p>病理学：第9章「腫瘍」(p.136~166)</p> <p>病態生理学：第1章 F「腫瘍」(p.18~21)</p> <p>臨床外科看護総論：第2章 B「腫瘍」(p.55~63)</p> <p>がん看護学：第2章「がんの病態と臨床経過」(p.44~88)</p> <p>医学概論：第5章 A-5「腫瘍」(p.85~94)</p>
		i 中毒、放射性障害	<p>病理学：第9章 C-2「腫瘍の発生因子」(p.156)</p> <p>救急看護学：第5章 K「中毒への対応」(p.258~263)、第5章 NOTE「放射線障害」(p.257)</p> <p>臨床放射線医学：第11章 A「放射線障害」(p.246~250)</p>
	C 感染	a 人と病原体の関わり	<p>成人看護学 [11] (感染症)：第1章 A「あなたを取り巻く感染症」(p.200~202)</p> <p>微生物学：第1章 B「微生物と人間」(p.7)、第2章 E「常在細菌叢」(p.34~37)、第6章 A-2「生体と病原体」(p.71~72)</p>
		b ウイルス	<p>成人看護学 [11] (感染症)：第2章 A「感染症とはなにか」(p.210~212)</p> <p>病理学：第5章 B「おもな病原体と感染症」(p.82~87)</p> <p>病態生理学：第1章 D-1-2「病原体」(p.15)</p> <p>薬理学：第1章「抗感染症薬」(p.62~88)</p> <p>微生物学：第5章「ウイルスの性質」(p.56~66)、第16章「おもなウイルスとウイルス感染症」(p.308~360)</p> <p>臨床検査：第8章 C-6「ウイルス」(p.250~253)</p>
		c 細菌	<p>成人看護学 [11] (感染症)：第2章 A「感染症とはなにか」(p.210~212)</p> <p>成人看護学 [12] (皮膚)：第5章 F「感染症」(p.133~156)</p> <p>病理学：第5章 B「おもな病原体と感染症」(p.82~87)</p> <p>病態生理学：第1章 D「感染症」(p.14~18)</p> <p>薬理学：第1章「抗感染症薬」(p.62~88)</p> <p>微生物学：第2章「細菌の性質」(p.14~38)、第13章「病原細菌と細菌感染症」(p.216~284)</p> <p>臨床検査：第8章 C「各種病原体と検査」(p.241~256)</p>
		d 真菌	<p>成人看護学 [11] (感染症)：第2章 A「感染症とはなにか」(p.210~212)</p> <p>薬理学：第1章「抗感染症薬」(p.62~88)</p> <p>微生物学：第3章「真菌の性質」(p.40~96)、第14章「病原真菌と真菌感染症」(p.286~294)</p> <p>臨床検査：第8章 C-2「真菌」(p.248~249)</p>
		e 薬剤耐性 (AMR) (多剤耐性菌)	<p>成人看護学 [11] (感染症)：第5章 T「多剤耐性菌感染症」(p.318~320)</p> <p>病理学：第5章 C-3「薬剤耐性菌」(p.89)</p> <p>病態生理学：第1章 D-3-2「病原体と化学療法薬」(p.17~13)</p> <p>薬理学：第1章 A-3「薬物耐性」(p.65)</p> <p>微生物学：第11章 A-3「薬剤耐性」(p.174~175)、第12章 C-2-3「院内感染で問題となっている薬剤耐性菌」(p.203)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			臨床検査：第8章 B-5「耐性菌の検査」(p.230～231)

目標Ⅲ. 疾病に対する診断・治療について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所	
4 疾病に対する医療	A 疾病の診断の基本と方法	a 医療面接(問診)、身体診察(視診・触診・聴診・打診)	基礎看護学 [2] (基礎看護技術Ⅰ)：第2章 C-1「フィジカルアセスメントに必要な技術」(p.74～81)	
		b 検体検査	病理学：付章「病理診断の実際」(p.320～329) 臨床検査：第1章 B-1「検体検査」(p.8)	
		c 生体機能検査	臨床検査：第10章Ⅰ「生体機能検査」(p.273～318)	
		d 画像検査	臨床検査：第10章Ⅱ「画像検査」(p.318～328)	
		e 内視鏡検査	臨床放射線医学：第1部「画像診断」(p.18～168) 成人看護学 [5] (消化器)：第4章 B-6「内視鏡検査」(p.92～97)	
		f 心理・精神機能検査	臨床検査：第10章Ⅲ「内視鏡検査」(p.328～333) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第3章 B-NOTE「心理的特性をはかる検査」(p.103～104)	
	B 疾病に対する薬物療法	a 与薬方法		基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章「与薬の技術」(p.285～343) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章 E-1「事故の視点からみた内服と薬業務の特性——注射業務との違いから理解する」(p.94～98) 薬理学：第2章 B-1「薬物の投与経路」(p.24～28) 臨床薬理学：第1章 A「医薬品の取り扱い」(p.6～22)、B-1「患者と薬物療法」(p.23～25)
			b 薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)	基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章 A-1「薬物の基本知識」(p.286～288) 薬理学：第2章 B-1「薬物の投与経路」(p.24～28) 臨床薬理学：第1章 A「医薬品の体内動態と薬物相互作用」(p.12～17)
			c 薬効	薬理学：第2章 A「薬が作用するしくみ(薬力学)」(p.16～22) 臨床薬理学：第1章 A「医薬品の体内動態と薬物相互作用」(p.12～17)
			d 薬理作用と副作用(有害事象)	薬理学：第2章 E-2「薬物の副作用」(p.48～51) 臨床薬理学：第1章 B-2「薬物治療の評価」(p.26～30)
	C 疾病に対する薬物療法以外の治療	a 手術、麻酔		[[成人看護学]各巻の第4章BまたはC] 薬理学：第6章 B「全身麻酔薬」(p.155～159) 臨床外科看護総論：第3章 A「麻酔法」(p.76～101)、第4章「外科的治療の実際」(p.144～182) クリティカルケア看護学：第4章「過大侵襲に伴う手術患者の特徴とケア」(p.116～143) 臨床薬理学：第2章 F「鎮静薬」(p.65～72)、第4章 G-1「硬膜外カテーテルによる鎮痛薬の投与と投与量の調整」(p.297～303)
			b 放射線治療	病理学：第9章 D-4-2「放射線療法」(p.162) がん看護学：第4章 C「放射線療法」(p.180～200) 臨床放射線医学：第2部「放射線治療」(p.169～242)
c 輸血			基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ)：第9章 H-2-4「静脈内注射」(p.320～336)、I「輸血管理」(p.337～343) 成人看護学 [4] (血液・造血器)：第4章 C-5-2「出血とその対策」(p.87～90) 看護の統合と実践 [2] (医療安全)：第2章 D「輸血業務と事故防止」(p.81～93) 薬理学：付章「輸液製剤・輸血剤」(p.298～311) 臨床外科看護総論：第3章 E「輸血療法」(p.124～135) 救急看護学：第6章 H-2「輸血」(p.315～316) 臨床検査：第6章 H「輸血に関する検査」(p.189～192)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d リハビリテーション、運動療法	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 8 章「障害がある人の生活とリハビリテーション」(p.222~236)</p> <p>成人看護学 [3] (循環器) : 第 6 章 F「心臓リハビリテーションと看護」(p.348~357)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経) : 第 6 章 C-2-2「リハビリテーションを受ける患者の看護」(p.316~320)</p> <p>リハビリテーション看護 : 全体</p> <p>医学概論 : 第 7 章 E「リハビリテーション医学」(p.116~119)</p>
		e 食事療法	<p>栄養食事療法 : 全体</p>
		f 臓器移植、再生医療	<p>成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 13 章 A-2-1「臓器移植」(p.407)</p> <p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 4 章 F「腎移植」(p.111~113)</p> <p>病理学 : 第 4 章 D「移植と再生医療」(p.69~74)</p> <p>臨床外科看護総論 : 第 4 章 C「臓器移植」(p.169~182)</p> <p>臨床外科看護各論 : 第 1 章 I-A-6-3「肺がんの治療・予後」(p.17~21)、第 2 章 I-A-5-2「心臓移植」(p.111)、第 3 章 I-D-11「肝移植」(p.272~273)</p> <p>救急看護学 : 第 5 章 O-1-4「脳死と臓器移植」(p.277~279)</p> <p>クリティカルケア看護学 : 第 4 章 G「肺移植後の看護」(p.139~142)</p>
		g 人工臓器・透析	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第 4 章 E「透析療法」(p.103~110)</p>
		h 精神療法	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 C「精神療法」(p.256~274)</p>
	D 医療による健康被害	a 薬害(化学物質)	<p>成人看護学 [11] (感染症) : 第 5 章 R-1「HIV 感染症」(p.310~313)</p> <p>病理学 : 第 1 章 B-3-2「医原病」(p.11)</p> <p>病態生理学 : 第 1 章 A-2-2「公害病・医原病・職業病」(p.3~4)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 F-2-2「難病対策」(p.239)</p>
		b ウイルス性肝炎	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第 5 章 D-1「肝炎」(p.209~228)</p> <p>成人看護学 [11] (感染症) : 第 5 章 F-4「ウイルス性肝炎」(p.281~283)</p> <p>病理学 : 第 13 章 D-2-2「ウイルス性肝炎」(p.243~245)</p> <p>微生物学 : 第 16 章 C-1「肝炎ウイルス」(p.350~357)</p>
		c 院内感染	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 13 章 A-2「院内感染の防止」(p.423~426)</p> <p>成人看護学 [11] (感染症) : 第 5 章 T「多剤耐性菌感染症」(p.318~320)</p> <p>病理学 : 第 5 章 C-2「院内感染」(p.90)</p> <p>微生物学 : 第 12 章 B-2「院内感染とその特徴」(p.202~203)</p>
		d 針刺し事故	<p>基礎看護学 [3] (基礎看護技術Ⅱ) : 第 13 章 H「針刺し防止策」(p.456~459)</p> <p>看護の統合と実践 [2] (医療安全) : 第 7 章 B-3-3「注射・点滴実施時の間違い」(p.235~236)</p> <p>臨床検査 : 第 2 章 E-3-1「採血時の針刺し事故とその対策」(p.50~51)</p>

目標Ⅳ. 各疾患の病態と診断・治療について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
5 呼吸機能	A 呼吸器系の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患(気管支炎、肺炎、間質性肺炎、胸膜炎)	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 A-1-2 「急性気管支炎」 (p.139)、A-3 「肺炎」 (p.142~153)、B 「間質性肺炎」 (p.164~176)、I-1-1 「胸膜炎」 (p.211~212)</p> <p>成人看護学 [11] (感染症) : 第 5 章 B 「上気道感染症」 (p.270~272)、C 「下気道感染症」 (p.272~274)</p> <p>病理学 : 第 12 章 A-1 「気道」 (p.202)、B-2 「肺炎」 (p.206~213)</p> <p>病態生理学 : 第 7 章 C 「呼吸器系の防御機構の障害」 (p.126~132)</p>
		b 気管支喘息	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 C-1 「気管支喘息」 (p.176~181)</p> <p>成人看護学 [11] (アレルギー) : 第 4 章 A 「気管支喘息」 (p.36~38)</p> <p>小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第 5 章 B-2-2 「気管支喘息」 (p.110~114)</p> <p>病理学 : 第 12 章 B-3-3 「気管支喘息」 (p.215~216)</p> <p>病態生理学 : 第 7 章 B-4 「気管支喘息」 (p.131~132)</p> <p>臨床薬理学 : 第 3 章 F 「気管支喘息」 (p.111~119)</p>
		c 慢性閉塞性肺疾患 (COPD)	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 C-3 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.183~188)</p> <p>病理学 : 第 12 章 B-3-NOTE 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.214)</p> <p>病態生理学 : 第 7 章 D-5 「閉塞性肺疾患」 (p.135~138)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第 5 章 A 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.264~280)</p> <p>臨床検査 : 第 10 章 I-B 「呼吸機能検査」 (p.292~302)</p> <p>臨床薬理学 : 第 3 章 G 「慢性閉塞性肺疾患」 (p.120~124)</p>
		d 肺循環障害(肺高血圧、肺塞栓症)	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 D 「肺血栓塞栓症」 (p.188~191)、E-3 「肺性心」 (p.194~195)</p> <p>病理学 : 第 12 章 B-4 「肺の循環障害」 (p.217)</p> <p>病態生理学 : 第 7 章 F 「肺循環の障害」 (p.138~139)</p>
		e 肺結核	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 A-4 「結核」 (p.153~164)</p> <p>成人看護学 [11] (感染症) : 第 5 章 C-3 「肺結核」 (p.273~274)</p> <p>病理学 : 第 12 章 B-2-1 「肺結核症」 (p.208)</p> <p>病態生理学 : 第 7 章 C-2-5 「肺結核」 (p.130)</p> <p>臨床検査 : 第 8 章 C-3 「抗酸菌」 (p.249)</p>
		f 気胸	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 I-3 「自然気胸」 (p.212~215)</p> <p>病理学 : 第 12 章 C-3 「気胸」 (p.221)</p> <p>病態生理学 : 第 7 章 B-2-2 「気胸」 (p.134)</p> <p>臨床外科看護各論 : 第 1 章 I-B-1 「自然気胸」 (p.22~23)</p>
		g 腫瘍(肺癌、中皮腫)	<p>成人看護学 [2] (呼吸器) : 第 5 章 G 「肺腫瘍」 (p.197~210)、I-5 「胸膜腫瘍」 (p.215~216)</p> <p>病理学 : 第 12 章 B-5 「肺腫瘍」 (p.218~221)、C-1-4 「悪性胸膜中皮腫」 (p.222)</p> <p>病態生理学 : 第 7 章 D-3 「気道における空気の通過障害」 (p.134)</p> <p>臨床外科看護各論 : 第 1 章 I-A-5 「肺良性腫瘍」 (p.13)、I-A-6 「肺がん」 (p.13~21)、I-B-3 「悪性胸膜中皮腫」 (p.23)</p> <p>がん看護学 : 第 4 章 C-2-1 「治療決定の例(肺がん)」 (p.186~187)</p> <p>臨床検査 : 第 6 章 G 「腫瘍マーカーの検査」 (p.185~188)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
6 循環機能	A 心臓の疾患の病態と診断・治療	a 先天性心疾患(心房中隔欠損症、心室中隔欠損症、動脈管開存症、Fallot(フアロー)四徴症)	<p>成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 I 「先天性心疾患」(p.211~220)</p> <p>小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第8章 B-2 「先天性心疾患」(p.193~202)</p> <p>病理学 : 第9章 B-2 「先天性心疾患(心奇形)」(p.174~177)</p> <p>病態生理学 : 第6章 A-2-c-1 「先天性心疾患」(p.100~103)</p> <p>臨床外科看護各論 : 第6章 I-D 「先天性心疾患」(p.513~532)</p> <p>臨床検査 : 第10章 I-A 「循環機能検査」(p.273~292)、II-A-2 「心臓超音波(心エコー)検査」(p.319~321)</p>
		b 虚血性心疾患(狭心症、急性冠症候群)	<p>成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 A 「虚血性心疾患」(p.120~149)</p> <p>病理学 : 第10章 B-5 「虚血性心疾患」(p.179~180)</p> <p>病態生理学 : 第6章 A-2-a 「冠循環の異常」(p.93~97)</p> <p>臨床外科看護各論 : 第2章 I-A-3-b 「虚血性心疾患」(p.99~105)</p> <p>リハビリテーション看護 : 第5章 B 「虚血性心疾患」(p.281~298)</p> <p>臨床検査 : 第5章 B-3 「心筋マーカー」(p.121~122)、第10章 I-A 「循環機能検査」(p.273~292)</p> <p>臨床薬理学 : 第3章 B 「急性冠症候群」(p.86~91)</p>
		c 心筋症(肥大型心筋症、拡張型心筋症)	<p>成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 G-1 「心筋症」(p.205~209)</p> <p>病理学 : 第10章 B-6 「心筋症」(p.183)</p> <p>病態生理学 : 第6章 A-2-c-3 「心筋症」(p.105)</p> <p>臨床検査 : 第5章 B-3 「心筋マーカー」(p.121~122)、第10章 I-A 「循環機能検査」(p.273~292)</p>
		d 心不全(急性心不全、慢性心不全)	<p>成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 B 「心不全」(p.149~161)</p> <p>病理学 : 第10章 B-3 「心不全」(p.177~187)</p> <p>病態生理学 : 第6章 A-2-e 「心不全」(p.106~107)</p> <p>臨床検査 : 第5章 B-3 「心筋マーカー」(p.121~122)、第10章 I-A 「循環機能検査」(p.273~292)</p> <p>臨床薬理学 : 第3章 C 「心不全」(p.92)</p>
		e 心タンポナーデ	<p>成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 F-2 「心タンポナーデ」(p.204)</p> <p>病理学 : 第10章 B-5-2 「心筋梗塞」(p.180~183)</p> <p>病態生理学 : 第6章 b 「心膜の障害」(p.105~106)</p> <p>救急看護学 : 第5章 I-1-3 「各部の外傷」(p.231~238)</p> <p>臨床検査 : 第10章 I-A 「循環機能検査」(p.273~292)、II-A-2 「心臓超音波(心エコー)検査」(p.319~321)</p>
		f 不整脈(上室性頻脈性不整脈、心室性頻脈性不整脈、徐脈性不整脈)	<p>成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 D 「不整脈」(p.171~198)</p> <p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 E-5 「不整脈」(p.55)</p> <p>病態生理学 : 第6章 A-2-b 「心筋収縮の指令の障害(不整脈)」(p.97~100)</p> <p>臨床外科看護各論 : 第2章 I-A-4 「不整脈の外科的治療」(p.105~107)</p> <p>臨床検査 : 第10章 I-A 「循環機能検査」(p.273~292)</p> <p>臨床薬理学 : 第3章 D 「不整脈」(p.99~104)</p>
		g 炎症性疾患(感染性心内膜炎、心筋炎、収縮性心膜炎)	<p>成人看護学 [3] (循環器) : 第5章 E 「弁膜症」(p.198~203)、F 「心膜炎」(p.204~205)</p> <p>成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 D 「心血管系感染症」(p.274~276)</p> <p>病理学 : 第10章 B-7 「心内膜と心膜の疾患」(p.183~184)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		h 弁膜症(大動脈弁疾患、僧帽弁疾患)	<p>病態生理学：第6章 A-2-c-2「弁膜の機能不全」(p.103～105)、A-2-d「心膜の障害」(p.105～106)</p> <p>臨床外科看護各論：第2章 I-A-3-a-4「感染性心内膜炎」(p.98～99)</p> <p>臨床検査：第5章 B-3「心筋マーカー」(p.121～122)、第10章 I-A「循環機能検査」(p.273～292)</p> <p>成人看護学 [3] (循環器)：第5章 E「弁膜症」(p.198～203)</p> <p>病理学：第10章 B-8「心臓弁膜症」(p.185～186)</p>
	B 血管系の疾患の病態と診断・治療	a 大動脈瘤、大動脈解離	<p>成人看護学 [3] (循環器)：第5章 J-1「大動脈瘤」(p.220～221)</p> <p>病理学：第10章 A-3「動脈瘤・大動脈解離」(p.173)</p> <p>病態生理学：第6章 B-2-c-2「動脈瘤」(p.115)</p> <p>臨床外科看護各論：第2章 I-B-3「動脈瘤」(p.123～130)</p>
		b 閉塞性動脈硬化症	<p>成人看護学 [3] (循環器)：第5章 J-3-4「閉塞性動脈硬化症」(p.223)</p> <p>病理学：第10章 A-2「動脈硬化症」(p.170～173)</p> <p>病態生理学：第6章 B-2-c-1「動脈硬化症」(p.115)</p> <p>臨床外科看護各論：第2章 I-B-2-2「慢性動脈閉塞」(p.114～118)</p>
		c 挫滅症候群	<p>救急看護学：第5章 I-1-3「各部の外傷」(p.231～238)</p>
		d 下肢静脈瘤、深部静脈血栓症	<p>成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章 D「肺血栓塞栓症」(p.188～191)</p> <p>成人看護学 [3] (循環器)：第5章 K-3「静脈瘤」(p.227～228)</p> <p>病理学：第3章 F-1「血栓塞栓症」(p.37～38)、第10章 A-4「静脈の疾患」(p.173～174)</p> <p>病態生理学：第6章 B-2-d「静脈の障害」(p.115～117)</p> <p>臨床外科看護各論：第2章 I-B-4-1「下肢静脈瘤」(p.130～133)、I-B-4-2「深部静脈血栓症」(p.133～135)</p>
	C 血圧異常の病態と診断・治療	a 動脈硬化症	<p>成人看護学 [3] (循環器)：第5章 A-3「冠状動脈硬化の危険因子」(p.143～149)</p> <p>病理学：第10章 A-2「動脈硬化症」(p.170～173)</p> <p>病態生理学：第6章 B-2-c-1「動脈硬化症」(p.115)</p>
		b 本態性高血圧	<p>成人看護学 [3] (循環器)：第5章 C-2「本態性高血圧」(p.166～168)</p> <p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章 E-1「高血圧」(p.52～53)</p> <p>病理学：第3章 J「高血圧症」(p.44～46)</p> <p>病態生理学：第6章 B-2-b「血圧の上昇による病態」(p.114)</p> <p>臨床薬理学：第3章 A「高血圧症」(p.80～85)</p>
		c 二次性高血圧	<p>成人看護学 [3] (循環器)：第5章 C-3「二次性高血圧」(p.168～170)</p> <p>病理学：第3章 J「高血圧症」(p.44～46)</p> <p>病態生理学：第6章 B-2-b「血圧の上昇による病態」(p.114)</p> <p>臨床薬理学：第3章 A「高血圧症」(p.80～85)</p>
		d 起立性低血圧	<p>成人看護学 [3] (循環器)：第5章 C-4-1「起立性低血圧」(p.170～171)</p>
	D ショックの病態と診断・治療	a 心原性ショック	<p>成人看護学 [3] (循環器)：第3章 H「ショック」(p.44～46)</p> <p>病理学：第3章 I「ショック」(p.42～44)</p> <p>救急看護学：第5章 D「ショック・循環障害への対応」(p.192～199)</p>
		b 出血性ショック	<p>成人看護学 [3] (循環器)：第3章 H「ショック」(p.44～46)</p> <p>病理学：第3章 I「ショック」(p.42～44)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 血流分布異常性ショック	<p>救急看護学：第5章D「ショック・循環障害への対応」(p.192~199)</p> <p>成人看護学 [3] (循環器)：第3章H「ショック」(p.44~46)</p> <p>病理学：第3章I「ショック」(p.42~44)</p> <p>病態生理学：第6章B-2-a-2「ショック」(p.112~114)</p> <p>救急看護学：第5章D「ショック・循環障害への対応」(p.192~199)</p>
7 栄養の摂取・消化・吸収・代謝機能	A 口腔、咽頭の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患(咽頭炎、扁桃炎)	<p>成人看護学 [11] (感染症)：第5章B-2「急性咽頭炎・扁桃腺炎」(p.270~271)</p> <p>成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第5章C-2-1「咽頭炎」(p.152)、C-2-2「急性扁桃炎」(p.152~153)、C-2-3「慢性(反復性)扁桃炎」(p.153~154)</p> <p>病理学：第12章A「鼻腔・咽頭・喉頭の疾患」(p.202~205)</p> <p>成人看護学 [15] (歯・口腔)：第5章「疾患の理解」(p.106~160)</p> <p>成人看護学 [14] (耳鼻咽喉)：第5章C-2-8「上咽頭がん」(p.158)、C-2-9「中咽頭がん」(p.158)、C-2-10「下咽頭がん」(p.158~159)</p> <p>成人看護学 [15] (歯・口腔)：第5章G-1-1「扁平上皮がん」(p.141~144)</p> <p>病理学：第12章A-7「悪性腫瘍」(p.205)</p> <p>臨床外科看護各論：第5章I-A-4「口腔がん」(p.438)、I-A-6「咽頭がん」(p.439~440)</p>
	B 上部消化管の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患(逆流性食道炎、急性胃炎、慢性胃炎、ヘリコバクターピロリ感染症)	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章A-3「胃食道逆流症」(p.149~152)、B-2「胃炎」(p.154~157)、B-3「胃・十二指腸潰瘍」(p.157~166)</p> <p>病理学：第13章A-3「食道の疾患」(p.227~228)、B「胃の疾患」(p.228~234)</p> <p>病態生理学：第8章B-2-2「逆流防止機構の障害」(p.147)、C-1「胃の防御機能の破綻」(p.148~150)</p> <p>臨床外科看護各論：第3章I-A-4「逆流性食道炎」(p.176~178)</p> <p>臨床検査：第5章B-6「ペプシノゲン(PG)」(p.127~128)、第8章C-1-4「グラム陰性桿菌」(p.244~248)</p> <p>臨床薬理学：第3章I「胃食道逆流症」(p.132~136)</p>
		b 潰瘍性疾患(胃潰瘍、十二指腸潰瘍)	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章B「胃・十二指腸疾患」(p.152~173)</p> <p>病理学：第13章B-2「胃の疾患」(p.229~231)、C-2「腸の疾患」(p.234~240)</p> <p>病態生理学：第8章C-1「胃の防御機構の破綻」(p.148~150)</p> <p>臨床外科看護各論：第3章I-B-2「胃・十二指腸潰瘍」(p.188~193)</p> <p>臨床検査：第7章J「消化管ホルモンの検査」(p.218~219)、第10章Ⅲ「内視鏡検査」(p.328~333)</p> <p>臨床薬理学：第3章H「胃・十二指腸潰瘍」(p.125~131)</p>
		c 腫瘍(食道癌、胃癌)	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章A-1「食道がん」(p.142~148)、B-4「胃がん」(p.166~173)</p> <p>病理学：第13章A-3-3「食道がん」(p.228)、B-2-3「胃がん」(p.231)、C-2-6「大腸がん」(p.239)</p> <p>病態生理学：第8章B-2-3「食道がん」(p.148)、D-3「胃がん」(p.151)</p> <p>臨床外科看護各論：第3章I-A-7「食道がん」(p.179~184)、I-B-3「胃がん」(p.193~201)</p> <p>がん看護学：第4章A-4「手術の種類」(p.141~150)</p> <p>臨床検査：第10章Ⅲ「内視鏡検査」(p.328~333)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
C	下部消化管の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患(潰瘍性大腸炎、Crohn〈クローン〉病、虫垂炎、痔瘻)	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第5章 C-2 「腸炎」 (p.175~181)、C-4 「虫垂炎」 (p.184~187)</p> <p>成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 E-2 「虫垂炎」 (p.278)</p> <p>病理学 : 第13章 C-2 「腸の疾患」 (p.234~240)</p> <p>臨床外科看護各論 : 第3章 I-C-4 「非特異性炎症性腸疾患」 (p.210~217)、I-C-6 「虫垂炎」 (p.219~220)、I-C-12-2 「痔瘻」 (p.239)</p> <p>臨床検査 : 第6章 A 「炎症マーカーの検査」 (p.171~172)</p>
		b イレウス	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第5章 C-6 「イレウス(腸閉塞症)」 (p.189~193)</p> <p>病理学 : 第13章 C-1-5 「イレウス」 (p.230)</p> <p>病態生理学 : 第8章 D-3-2 「腸閉塞」 (p.154~155)</p> <p>臨床外科看護各論 : 第3章 I-C-7 「イレウス」 (p.220~223)</p>
c 腫瘍(大腸ポリープ、結腸癌、直腸癌)		<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第5章 C-9 「腸管ポリープおよびポリポーシス」 (p.196~199)、C-10 「結腸がん、直腸がん」 (p.199~205)</p> <p>病理学 : 第13章 C-2 「腸の疾患」 (p.234~240)</p> <p>臨床外科看護各論 : 第3章 I-C-9 「腸管ポリープ」 (p.225~228)、I-C-11-1 「大腸がん」 (p.229~236)</p> <p>がん看護学 : 第4章 A-4 「手術の種類」 (p.141~150)</p> <p>臨床検査 : 第10章 III 「内視鏡検査」 (p.328~333)</p>	
d 排便障害(便秘、下痢)		<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第3章 F 「下痢」 (p.55~56)、G 「便秘」 (p.56~58)</p> <p>臨床薬理学 : 第2章 C 「便秘治療薬」 (p.52~56)、D 「下痢治療薬」 (p.57~59)</p>	
D	肝臓・胆嚢・膵臓の疾患の病態と診断・治療	a 炎症性疾患(肝炎、胆管炎、膵炎)	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第5章 D-1 「肝炎」 (p.209~228)、D-8 「急性胆嚢炎および胆管炎」 (p.251)、E-1 「膵炎」 (p.255~260)</p> <p>成人看護学 [11] (感染症) : 第5章 F 「肝胆道系感染症」 (p.279~283)</p> <p>病理学 : 第13章 D-2 「肝臓・胆管・胆嚢の疾患」 (p.242~247)、E-2 「膵臓の疾患」 (p.251)</p> <p>病態生理学 : 第8章 E-2 「肝細胞・肝小葉の障害」 (p.160~164)、F-2 「膵臓の機能の障害」 (p.169~170)</p> <p>臨床外科看護各論 : 第3章 I-D-8 「胆嚢炎・胆管炎」 (p.267~269)、I-G-3 「膵炎」 (p.296~298)</p> <p>臨床検査 : 第5章 B 「血清酵素の検査」 (p.123~128)</p> <p>臨床薬理学 : 第3章 J 「慢性肝炎」 (p.137~145)</p>
		b 肝硬変	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第5章 D-2 「肝硬変症」 (p.228~235)</p> <p>病理学 : 第13章 D-2-5 「肝硬変症」 (p.247)</p> <p>病態生理学 : 第8章 E-2-4 「肝硬変」 (p.161)</p> <p>臨床検査 : 第5章 B 「血清酵素の検査」 (p.123~128)</p>
		c 腫瘍(肝癌、胆嚢癌、胆管癌、膵癌)	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第5章 D-5 「肝(臓)がん」 (p.241~246)、D-9 「胆管がん」 (p.251~252)、D-10 「胆嚢がん」 (p.252~253)、E-2 「膵(臓)がん」 (p.260~262)</p> <p>病理学 : 第13章 D-2-6 「肝がん」 (p.248)、E-2-3 「膵がん」 (p.252)、第15章 B-5 「膵島の疾患」 (p.285)</p> <p>病態生理学 : 第8章 E-2-6 「肝がん」 (p.163)、F-2-3 「膵臓がん」 (p.170)</p> <p>臨床外科看護各論 : 第3章 I-D-3 「肝(臓)がん」 (p.252~260)、I-D-10 「胆道がん」 (p.269~272)、I-G-5 「膵(臓)がん」 (p.296~298)</p> <p>臨床検査 : 第6章 G 「腫瘍マーカーの検査」 (p.185~188)</p>
		d 脂肪肝、アルコール性肝炎	<p>成人看護学 [5] (消化器) : 第5章 D-1-7 「アルコール性肝障害」 (p.226)、D-1-8 「脂肪肝」 (p.227)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 胆石症	<p>病理学：第13章 D-2-3「脂肪性肝疾患」(p.245~246)</p> <p>病態生理学：第8章 E-2「肝細胞・肝小葉の障害」(p.160~164)</p> <p>臨床検査：第5章 B「血清酵素の検査」(p.123~128)</p> <p>成人看護学 [5] (消化器)：第3章 D-7「胆石症」(p.246~250)</p> <p>病理学：第6章 D-4「黄疸」(p.102~103)、第13章 D-2-7「胆嚢炎, 胆石症」(p.250)</p> <p>病態生理学：第8章 E-4「胆汁産生と胆道の障害」(p.165~166)</p> <p>臨床外科看護各論：第3章 I-D-7「胆石症」(p.263~267)</p> <p>臨床検査：第5章 E「胆汁排泄関連物質の検査」(p.140~143)</p>
	E 腹壁・腹膜・横隔膜の疾患の病態と診断・治療	a 鼠径ヘルニア	<p>小児看護学 [2] (小児臨床看護各論)：第9章 B-7-6「外鼠径ヘルニア」(p.256~257)</p> <p>臨床外科看護各論：第3章 I-H-2-1「鼠径部ヘルニア」(p.311)、第6章 I-C-23「鼠径ヘルニア」(p.506)</p>
		b 腹膜炎	<p>成人看護学 [5] (消化器)：第5章 C-3「腹膜炎」(p.182~184)</p>
		c 横隔膜ヘルニア、吃逆	<p>成人看護学 [2] (呼吸器)：第5章 J-3-1「吃逆(しゃっくり)」(p.218)、J-3-3「横隔膜ヘルニア」(p.218~219)</p>
8 内部環境調節機能	A 内分泌系の疾患の病態と診断・治療	a 間脳・下垂体疾患	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A-1「視床下部——下垂体前葉系疾患」(p.82~94)、A-2「視床下部——下垂体後葉系疾患」(p.94~97)</p> <p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 A-2-2「おもな脳腫瘍」(p.148~151)</p> <p>病理学：第15章 B-1「下垂体の疾患」(p.277~279)</p> <p>病態生理学：第10章 A-2「視床下部——下垂体系のはたらきとその異常」(p.197~200)</p> <p>臨床外科看護各論：第4章 I-A-4-4「下垂体腺腫」(p.389~391)</p> <p>臨床検査：第7章 A「下垂体前葉ホルモンの検査」(p.196~200)、B「下垂体後葉ホルモンの検査」(p.200~201)</p>
		b 甲状腺疾患(甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、甲状腺炎)	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A-3「甲状腺疾患」(p.79~112)</p> <p>病理学：第15章 B-2「甲状腺の疾患」(p.279~281)</p> <p>病態生理学：第10章 B-3「甲状腺のはたらきとその異常」(p.200~203)</p> <p>臨床外科看護各論：第5章 I-B「甲状腺・副甲状腺(上皮小体)の疾患」(p.444~455)</p> <p>臨床検査：第7章 C「甲状腺ホルモンの検査」(p.202~208)</p>
		c 副甲状腺(上皮小体)疾患	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A-4「副甲状腺疾患」(p.112~118)</p> <p>病理学：第15章 B-3「副甲状腺の疾患」(p.281~282)</p> <p>病態生理学：第10章 A-4「副甲状腺のはたらきとその異常」(p.204~205)</p> <p>臨床外科看護各論：第5章 I-B「甲状腺・副甲状腺(上皮小体)の疾患」(p.444~455)</p> <p>臨床検査：第7章 D「副甲状腺ホルモンの検査」(p.208~209)</p>
		d 副腎皮質・髄質疾患	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A-5「副腎疾患」(p.118~125)</p> <p>病理学：第15章 B-4「副腎の疾患」(p.282~284)</p> <p>病態生理学：第10章 A-5「副腎皮質のはたらきとその異常」(p.205~208)、B-6「副腎髄質のはたらきとその異常」(p.208)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 腫瘍(下垂体腫瘍、甲状腺癌)	<p>臨床外科看護各論：第3章 I-I「副腎の疾患」(p.312～319)</p> <p>臨床検査：第7章 E「副腎皮質ホルモンの検査」(p.209～214)、F「副腎髄質ホルモンの検査」(p.214～215)</p> <p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 A-1「視床下部——下垂体前葉系疾患」(p.82～94)、A-2「視床下部——下垂体後葉系疾患」(p.94～97)、A-3-6「甲状腺腫瘍」(p.108～112)、A-8「多発性内分泌腫瘍症」(p.128～129)</p> <p>病理学：第15章 B-1-2「下垂体腺腫」(p.278)、B-2-5「甲状腺がん」(p.281)</p> <p>臨床外科看護各論：第4章 I-A-4-4「下垂体性腺腫」(p.389～391)、第5章 I-B-3「甲状腺腫瘍」(p.450～453)</p> <p>臨床検査：第7章 A「下垂体前葉ホルモンの検査」(p.196～200)、B「下垂体後葉ホルモンの検査」(p.200～201)、C「甲状腺ホルモンの検査」(p.202～208)</p>
	B 代謝異常の疾患の病態と診断・治療	a メタボリックシンドローム、肥満症	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B-3「肥満症とメタボリックシンドローム」(p.175～180)</p> <p>病理学：第6章 A-1「肥満」(p.94)</p> <p>臨床検査：第5章 D「脂質代謝の検査」(p.135～140)</p>
		b 糖尿病	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B-1「糖尿病」(p.132～164)</p> <p>病理学：第6章 C「糖尿病」(p.98～100)</p> <p>病態生理学：第10章 B「糖代謝とその異常」(p.209～214)</p> <p>臨床検査：第5章 C「糖代謝の検査」(p.128～135)</p> <p>臨床薬理学：第3章 M「糖尿病」(p.159～168)、第4章 C「インスリンの投与量の調整」(p.252～258)</p>
		c 脂質異常症	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B-2「脂質異常症」(p.165～174)</p> <p>病理学：第6章 A-4「脂質異常症」(p.96～97)</p> <p>病態生理学：第10章 C「脂質代謝とその異常」(p.215～217)</p> <p>臨床検査：第5章 D「脂質代謝の検査」(p.135～140)</p> <p>臨床薬理学：第3章 N「脂質異常症」(p.169～174)</p>
		d 高尿酸血症、痛風	<p>成人看護学 [6] (内分泌・代謝)：第5章 B-4「尿酸代謝異常」(p.180～184)</p> <p>病理学：第6章 D-2「痛風」(p.101)</p> <p>病態生理学：第10章 D「尿酸代謝とその異常」(p.217～218)</p>
		e ビタミン欠乏症	<p>臨床検査：第5章 E「窒素化合物の検査」(p.143～145)</p> <p>生化学：第11章「ビタミンと補酵素」(p.150～164)</p> <p>栄養学：第9章 F-3-5「ビタミンの欠乏症・過剰症」(p.217～218)</p> <p>臨床検査：第5章 M「ビタミンの検査」(p.143～145)</p>
	C 体液調節の疾患の病態と診断・治療	a 水・電解質の異常(脱水、浮腫、低ナトリウム血症、高カリウム血症)	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章 C「浮腫」(p.49～51)、D「脱水」(p.51～52)、E-4「電解質の異常」(p.57～58)</p> <p>病態生理学：第4章 A-2「体液・電解質の異常」(p.59～65)</p> <p>救急看護学：第5章 G「体液・代謝異常への対応」(p.216～224)</p> <p>クリティカルケア看護学：第5章 C「体液・循環管理」(p.159～164)</p> <p>臨床検査：第5章 I「水・電解質の検査」(p.152～157)</p> <p>臨床薬理学：第4章 A-5「持続点滴中の糖質・電解質輸液の投与量の調整」(p.231～237)、B-1「脱水症状に対する輸液による補正」(p.238～243)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 酸塩基平衡の異常(アシドーシス、アルカローシス)	成人看護学 [2] (呼吸器) : 第2章 B-4 「酸塩基平衡」(p.38~39)、第4章 B-8-2 「酸塩基平衡」(p.105~108) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 E-5 「酸塩基平衡の障害」(p.58~59) 生化学 : 第6章 C 「酸塩基平衡」(p.73~75) 病態生理学 : 第4章 B-2 「酸・塩基平衡の異常」(p.67~70) クリティカルケア看護学 : 第5章 C 「体液・循環管理」(p.159~164) 臨床検査 : 第5章 J 「血液ガス分析」(p.157~162)
9 造血機能	A 血液・造血器の疾患の病態と診断・治療	a 貧血(鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血、溶血性貧血、骨髄異形成症候群、二次性貧血)	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第3章 A-1 「貧血」(p.33)、C 「貧血」(p.39~41)、第4章 A 「赤血球系の異常」(p.50~67) 病理学 : 第11章 A-2 「貧血」(p.190~191) 病態生理学 : 第5章 B-2 「赤血球の障害」(p.75~79)
		b 白血球減少症	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第3章 C-3 「白血球減少症」(p.43~44)、第4章 B-1 「無顆粒球症」(p.67) 病理学 : 第11章 A-3-2 「白血球減少症」(p.192) 病態生理学 : 第5章 C-2-1 「白血球減少症」(p.82)
		c 出血性疾患(血栓性血小板減少性紫斑病(TTP)、免疫性血小板減少性紫斑病(ITP)、播種性血管内凝固(DIC))	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第3章 A-4 「出血傾向」(p.35)、C-6 「出血性素因」(p.46~48)、第4章 D 「出血性疾患」(p.125~133) 病理学 : 第3章 K 「播種性血管内凝固」(p.47~48)、第11章 A-7 「出血性疾患」(p.195~196) 病態生理学 : 第5章 D-2 「出血傾向」(p.86~88) クリティカルケア看護学 : 第3章 F 「凝固・線溶系障害とケア」(p.78~84)
		d 腫瘍(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫)	成人看護学 [4] (血液・造血器) : 第4章 C 「造血器腫瘍」(p.69~89) 病理学 : 第11章 A-4 「白血病」(p.192)、A-6 「形質細胞腫と多発性骨髄腫」(p.194)、B-2 「悪性リンパ腫」(p.196~199) 病態生理学 : 第5章 C-3 「白血球の腫瘍化」(p.82~84)
10 免疫機能	A 自己免疫疾患の病態と診断・治療	a 全身性エリテマトーデス(SLE)	成人看護学 [11] (膠原病) : 第5章 B 「全身性エリテマトーデス」(p.130~133) 病理学 : 第4章 C-3 「膠原病と類縁疾患」(p.68~69) 病態生理学 : 第3章 C-2-2 「全身性自己免疫疾患」(p.52)
		b 関節リウマチ	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 B-2 「関節リウマチとその類縁疾患」(p.136~143) 成人看護学 [11] (膠原病) : 第5章 A 「関節リウマチ」(p.128~130) 病理学 : 第4章 C-3 「膠原病と類縁疾患」(p.68~69)、第17章 4-3 「関節リウマチ」(p.309) 病態生理学 : 第3章 C-2-2 「全身性自己免疫疾患」(p.52) リハビリテーション看護 : 第3章 C 「関節リウマチ」(p.116~133) 臨床薬理学 : 第3章 P 「関節リウマチ」(p.179~184)
		c Sjögren (シェーグレン) 症候群	成人看護学 [11] (膠原病) : 第5章 G 「シェーグレン症候群」(p.142~143) 病理学 : 第4章 C-3 「膠原病と類縁疾患」(p.68~69) 病態生理学 : 第3章 C-2-2 「全身性自己免疫疾患」(p.52)
	B アレルギー性疾患の病態と診断・治療	a 花粉症(アレルギー性鼻炎)	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第4章 B 「アレルギー性鼻炎」(p.38) 病理学 : 第4章 C-1-1 「I型アレルギー(即時型アレルギー)」(p.61~62) 病態生理学 : 第3章 C-1 「I型アレルギー」(p.46~48)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		b 蕁麻疹	臨床検査：第6章E「アレルギー検査」(p.183~184) 成人看護学 [11] (アレルギー)：第4章F「蕁麻疹」(p.43~44) 成人看護学 [12] (皮膚)：第5章A-2-1「蕁麻疹」(p.86~87) 病理学：第18章B-3「蕁麻疹」(p.316)
		c 接触皮膚炎	病態生理学：第3章C-1「I型アレルギー」(p.46~48) 成人看護学 [11] (アレルギー)：第4章G「接触皮膚炎」(p.44~45) 成人看護学 [12] (皮膚)：第5章A-1-2「接触皮膚炎」(p.82~83) 病理学：第4章C-1-4「IV型アレルギー(遅延型アレルギー)」(p.66)、第17章B-3「接触皮膚炎」(p.316)
		d アナフィラキシーショック	病態生理学：第3章C-4「IV型アレルギー」(p.50) 成人看護学 [11] (アレルギー)：第4章E「アナフィラキシーショック」(p.42~43) 病理学：第3章I「ショック」(p.42~44) 病態生理学：第6章B-2-a-1「ショック」(p.112~114) 救急看護学：第5章D「ショック・循環障害への対応」(p.192~199)
		C 免疫低下に関連する疾患の病態と診断・治療	a 敗血症 成人看護学 [11] (感染症)：第2章C-2「SIRSと敗血症」(p.219~221) 病理学：第5章A-1「感染と体内での拡散」(p.76~79) 病態生理学：第1章B-4-4「敗血症」(p.14) b ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症 成人看護学 [11] (感染症)：第5章R-1「HIV感染症」(p.310~313) 母性看護学 [2] (母性看護学各論)：第7章I B-14「後天性免疫不全症候群(エイズ)」(p.381) 病理学：第4章B-4「免疫不全症」(p.60) 病態生理学：第3章B-3「T細胞の機能低下」(p.45) 微生物学：第16章B-11-2「ヒト免疫不全ウイルス」(p.347~350)
11 神経機能	A 中枢神経系の疾患の病態と診断・治療	a 脳血管障害(脳内出血、くも膜下出血、脳梗塞、もやもや病) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章A-1「脳血管障害」(p.124~146) 病理学：第16章A-2「脳・神経系の循環障害(脳血管障害)」(p.288~293) 病態生理学：第12章B-2「脳循環障害」(p.240~242) 臨床外科看護各論：第4章I-A-3「脳血管疾患」(p.381~385) リハビリテーション看護：第4章A「脳血管障害」(p.136~196) b 頭蓋内圧亢進症 成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章B-6「頭蓋内圧亢進と脳ヘルニア(脳嵌入)」(p.81~85)、第5章A-2「脳腫瘍」(p.146~151) 病理学：第16章A-2-6「頭蓋内圧亢進症」(p.293) 病態生理学：第12章C-2「脳圧の異常による障害」(p.243) 救急看護学：第5章A-2-1「意識障害時の救急処置」(p.178~179) c 変性疾患(Parkinson〈パーキンソン〉病、筋萎縮性側索硬化症〈ALS〉) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章E-2「脳・神経の変性疾患」(p.187~198) 病理学：第16章A-4「変性疾患」(p.297~299) 病態生理学：第12章H-3-2「パーキンソン病」(p.262~264)、I-2「筋萎縮性側索硬化症(ALS)」(p.262~263) リハビリテーション看護：第4章B「パーキンソン病」(p.197~226) 臨床薬理学：第3章Q「パーキンソン病」(p.185~190) d 脱髄疾患(多発性硬化症) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章E-1「脱髄疾患」(p.184~187)	

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 認知症 (Alzheimer〈アルツハイマー〉病、血管性認知症、Lewy〈レビー〉小体型認知症)	<p>病理学：第16章 A-5「脱髄疾患」(p.300～301) 病態生理学：第12章 A-5-1「多発性硬化症」(p.300～301) 成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 I「認知症」(p.217～224) 老年看護 病態・疾患論：第4章 A「認知症」(p.119～134) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-7-1「認知症」(p.210～205) 病理学：第16章 A-4-1「アルツハイマー病」(p.286～287) 病態生理学：第12章 G-3「認知症」(p.252) 臨床薬理学：第3章 R「認知症(アルツハイマー病)」(p.191～195)</p>
		f 感染症(脳炎、髄膜炎)	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 A-3「脳の感染症」(p.198～207) 成人看護学 [11] (感染症)：第5章 K「中枢神経感染症」(p.293～294) 病理学：第16章 A-3「脳・神経系の感染症」(p.294～297) 病態生理学：第12章 D-4「髄膜炎と脳炎」(p.245)</p>
		g 頭部外傷	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 A-3「頭部外傷」(p.152～157) 病理学：第16章 A-2-5「頭部外傷」(p.292) 臨床外科看護各論：第4章 I-A-2「頭部外傷」(p.378～381) 救急看護学：第5章 I-1-3「各部の外傷」(p.231～238)</p>
		h 脊髄損傷	<p>成人看護学 [10] (運動器)：第5章 D-1「脊髄損傷」(p.117) 臨床外科看護各論：第4章 I-B-4「外傷に伴う脊髄疾患」(p.398～400) 救急看護学：第5章 I-1-3「各部の外傷」(p.231～238) リハビリテーション看護：第4章 C「脊髄損傷」(p.226～259)</p>
		i 機能的疾患(てんかん)	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章 B-8「頭痛」(p.86～88)、第5章 H「てんかん」(p.212～217) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第5章 C-9「てんかん」(p.225～227) 病態生理学：第12章 E「頭痛」(p.247～248)、H-4「けいれん・てんかん」(p.256～258) 臨床薬理学：第3章 T「てんかん」(p.203～208)</p>
		j 腫瘍(脳腫瘍)	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 A-2「脳腫瘍」(p.146～151) 病理学：第16章 A-6「脳腫瘍」(p.301～302) 病態生理学：第12章 D「脳腫瘍」(p.245～246) 臨床外科看護各論：第4章 I-A-4「脳腫瘍」(p.385～392)</p>
	B 末梢神経系の疾患の病態と診断・治療	a Guillain-Barré〈ギラン・バレー〉症候群	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 C-3「ギラン・バレー症候群」(p.169～170) 成人看護学 [10] (運動器)：第5章 F-3-2「多発性ニューロパチー」(p.165～166) 病理学：第16章 A-7-1「末梢神経障害」(p.302)</p>
		b 圧迫性神経障害	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 C-5「単ニューロパチー」(p.171～173) 病態生理学：第12章 H-6-2「末梢神経の圧迫障害」(p.260～261)</p>
		c 顔面神経麻痺(Bell〈ベル〉麻痺)	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 C-7「顔面神経麻痺」(p.174～175) 病態生理学：第12章 H-NOTE「ベル麻痺」(p.260) 救急看護学：第5章 D-1-2「視診」(p.117～119)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d 自律神経失調症	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-5 「自律性のある機能の障害」 (p.76~81)
	C 感覚器系の疾患の病態と診断・治療	a 視覚障害(白内障、緑内障、網膜剥離、網膜症)	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第3章 B-4-2 「特殊感覚の障害」 (p.76)、B-5-1 「対光反射の障害と瞳孔不同」 (p.76~78) 成人看護学 [13] (眼) : 第3章 A 「視機能に関連した症状」 (p.28~31)、第5章 A 「機能の障害」 (p.96~114) 病理学 : 第18章 A-1 「眼の疾患」 (p.312~314) 病態生理学 : 第13章 A 「視覚器の機能とその異常」 (p.266~270) リハビリテーション看護 : 第6章 A 「視覚障害」 (p.304~324)
		b 聴覚障害(難聴、Ménière〈メニエール〉病)	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第3章 A-1 「難聴」 (p.47~48)、第5章 A-3-2 「メニエール病(特発性内リンパ水腫)」 (p.123~125) 病理学 : 第18章 A-1 「耳の疾患」 (p.314~315) 病態生理学 : 第13章 B 「聴覚器の機能とその異常」 (p.270~274) リハビリテーション看護 : 第6章 B 「聴覚障害」 (p.324~334)
		c 嗅覚・味覚障害	成人看護学 [14] (耳鼻咽喉) : 第3章 B-3 「嗅覚障害」 (p.51~52)、第5章 C-6 「味覚障害」 (p.151) 病態生理学 : 第13章 C 「味覚・嗅覚とその異常」 (p.274~276)
		d 皮膚障害(湿疹、アトピー性皮膚炎、帯状疱疹、疥癬、蜂窩織炎)	成人看護学 [11] (アレルギー) : 第4章 C 「アトピー性皮膚炎」 (p.39~40) 成人看護学 [12] (皮膚) : 第5章 A-1 「湿疹・皮膚炎群」 (p.80~86)、F-5-2 「帯状疱疹」 (p.144~145)、G-7-3 「疥癬」 (p.150~151) 病理学 : 第18章 B 「皮膚の疾患」 (p.315~318) 病態生理学 : 第2章 A-3 「体内の反応による皮膚の異常」 (p.31~33)
12 運動機能	A 骨・関節の疾患の病態と診断・治療	a 骨折、脱臼、捻挫	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 A 「骨折」 (p.92~110)、B 「脱臼」 (p.110~115)、C 「捻挫および打撲」 (p.115~116) 病理学 : 第17章 1 「骨折」 (p.306) リハビリテーション看護 : 第3章 B 「骨折」 (p.92~115)
		b 骨粗鬆症	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 H-7 「骨粗鬆症」 (p.175~177) 老年看護 病態・疾患論 : 第4章 J-7 「骨粗鬆症」 (p.228~231) 生化学 : 第17章 A 「骨粗鬆症」 (p.252~253) 病理学 : 第17章 3 「骨粗鬆症」 (p.306) 病態生理学 : 第10章 E-2-2 「骨粗鬆症」 (p.219) 臨床薬理学 : 第3章 O 「骨粗鬆症」 (p.175~178)
		c 腫瘍(骨肉腫)	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 C 「骨腫瘍および軟部腫瘍」 (p.150~157) 病理学 : 第17章 6 「骨肉腫」 (p.310)、7 「転移性骨腫瘍」 (p.310)
		d 変形性関節症	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 B-7 「関節の変性疾患 : 変形性関節症」 (p.148~150) 老年看護 病態・疾患論 : 第4章 J-2 「変形性膝関節症」 (p.222~224) 病理学 : 第17章 4-2 「変形性関節症」 (p.308)
		e 腰痛症(椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症)	成人看護学 [10] (運動器) : 第5章 H-3 「腰部脊柱管狭窄症」 (p.172)、H-5 「椎間板ヘルニア」 (p.173~175)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		f 炎症性疾患(骨・骨髄炎、関節炎)	<p>老年看護 病態・疾患論：第4章 J-4「椎間板ヘルニア」(p.225~226)、J-5「腰部脊柱管狭窄症」(p.226~227)</p> <p>病理学：第17章 5「椎間板ヘルニア」(p.309)</p> <p>臨床外科看護各論：第4章 I-B-2「腰椎疾患」(p.394~396)</p> <p>成人看護学 [10] (運動器)：第5章 B「骨・関節の炎症性疾患」(p.134~150)</p> <p>病態生理学：第17章 2「骨髄炎」(p.306)、「関節炎」(p.308~309)</p>
	B 筋肉・神経筋接合部の疾患の病態と診断・治療	a 筋ジストロフィー	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 D-1「筋ジストロフィー」(p.176~179)</p> <p>病理学：第16章 B-1「進行性筋ジストロフィー」(p.303)</p> <p>病態生理学：第12章 I-4「進行性筋ジストロフィー」(p.263)</p>
		b 重症筋無力症	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第5章 D-5「重症筋無力症」(p.181~184)</p> <p>病理学：第16章 B-2「重症筋無力症」(p.304)</p> <p>病態生理学：第12章 I-3「重症筋無力症」(p.263)</p>
13 排泄機能	A 泌尿器系の疾患の病態と診断・治療	a 腎炎、慢性腎臓病	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 A-3「慢性腎臓病」(p.123~126)、C「糸球体腎炎」(p.130~135)、D「全身性疾患による腎障害」(p.135~145)</p> <p>病理学：第14章 A「腎・泌尿器系の疾患」(p.254~260)</p> <p>病態生理学：第9章 B「腎機能の障害」(p.180~188)</p> <p>臨床検査：第5章 F「腎機能の検査」(p.147~152)</p> <p>臨床薬理学：第3章 K「慢性腎臓病(CKD)」(p.146~152)</p>
		b 炎症性疾患(腎盂腎炎、膀胱炎)	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 I「尿路・性器の感染症」(p.153~159)</p> <p>成人看護学 [11] (感染症)：第5章 G「尿路感染症」(p.283)</p> <p>病理学：第14章 A「腎・泌尿器系の疾患」(p.254~260)</p> <p>病態生理学：第11章 C-2「泌尿器の機能の障害」(p.191~193)</p>
		c 腫瘍(腎癌、尿管癌、膀胱癌)	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 M「尿路・性器の腫瘍」(p.175~186)</p> <p>病理学：第14章 A-6「腎がん」(p.260)、A-7-3「尿路がん」(p.261)</p> <p>病態生理学：第11章 B-8「腎臓から発生する腫瘍」(p.188)、C-3「尿路系の悪性腫瘍」(p.194)</p>
		d 腎・尿路結石	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 J「尿路の通過障害と機能障害」(p.159~166)</p> <p>病理学：第14章 A-7「尿路の疾患」(p.260~261)</p> <p>病態生理学：第11章 C-2-2「通過障害」(p.192~193)</p>
		e 排尿障害(過活動膀胱、腹圧性尿失禁、夜尿症)	<p>成人看護学 [7] (脳・神経)：第3章 B-5-3「排泄障害」(p.79~80)</p> <p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第3章 B「排尿に関連した症状」(p.46~49)</p> <p>病態生理学：第9章 C-2「泌尿器の機能の障害」(p.191~193)</p> <p>リハビリテーション看護：第4章 A-5-9「排尿障害」(p.190~192)、C-5-3「排尿障害」(p.245~248)</p>
		f 腎不全	<p>成人看護学 [8] (腎・泌尿器)：第5章 A「腎不全と慢性腎臓病」(p.117~126)</p> <p>病理学：第14章 A-5「腎不全」(p.259~260)</p> <p>病態生理学：第11章 B-7「腎不全」(p.185~188)</p> <p>臨床検査：第5章 F「腎機能の検査」(p.147~152)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
14 生殖機能	A 生殖器系の疾患の病態と診断・治療	a 女性生殖器の疾患(子宮筋腫、子宮内膜症、卵巣嚢腫)	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第5章 B-3-5 「子宮筋腫」(p.123~126)、B-3-6 「子宮内膜症」(p.126~128)、B-5-1 「卵巣の良性腫瘍」(p.138~140) 病理学 : 第14章 B-3 「女性生殖器の疾患」(p.264~270) 病態生理学 : 第11章 A 「女性生殖器の機能とその異常」(p.222~229)
		b 乳腺の疾患(乳腺炎、乳腺症)	成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第5章 B-7-3 「乳腺良性腫瘍性疾患」(p.166~168)、B-7-5 「炎症」(p.169~170) 病理学 : 第14章 C 「乳腺の疾患」(p.271~272) 臨床外科看護各論 : 第1章 I-D-2 「その他の乳腺疾患」(p.36~37)
		c 男性生殖器の疾患(前立腺炎、前立腺肥大)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 I 「尿路・性器の感染症」(p.153~159)、N 「発生・発育の異常」(p.186~190) 老年看護 病態・疾患論 : 第4章 I-4-1 「前立腺肥大症」(p.219) 病理学 : 第14章 B-2 「男性生殖器の疾患」(p.262~264) 病態生理学 : 第11章 B-2 「男性生殖器の異常」(p.232~233)
		d 腫瘍(乳癌、子宮体癌、子宮頸癌、卵巣癌、前立腺癌)	成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第5章 M 「尿路・性器の腫瘍」(p.175~186) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第5章 B-3-3 「子宮頸がん」(p.115~120)、B-3-4 「子宮体がん」(p.120~123)、B-5-2 「卵巣の悪性腫瘍」(p.140~144)、B-7-1 「乳がん」(p.145~164) 病理学 : 第14章 B-3-5 「子宮頸がん」(p.267~268)、B-3-6 「子宮体がん」(p.268~269)、B-3-7 「卵巣腫瘍」(p.269~270)、C-2-4 「乳がん」(p.272) 病態生理学 : 第11章 A-4 「子宮頸がんと子宮体がん」(p.227~228)、A-6 「卵巣腫瘍」(p.229)、A-7 「乳がん」(p.230~231)、B-2 「男性生殖器の異常」(p.232~233) 臨床外科看護各論 : 第1章 I-D-1 「乳がん」(p.26~36)
		e 生殖機能障害(月経異常、更年期障害)	成人看護学 [6] (内分泌・代謝) : 第5章 A-6 「性腺疾患」(p.125~127) 成人看護学 [8] (腎・泌尿器) : 第3章 J-3 「精巣および性機能障害」(p.65)、O 「男性不妊症、男性性機能障害、その他の男性生殖器疾患」(p.190~192) 成人看護学 [9] (女性生殖器) : 第5章 C-1 「月経異常・月経随伴症状」(p.171~176)、C-2 「更年期障害」(p.176~178) リハビリテーション看護 : 第4章 A-5-11 「性機能障害」(p.194~195)、C-5-5 「性機能障害」(p.250~255)
15 精神機能	A 精神・心身の疾患の病態と診断・治療	a 症状性を含む器質性精神障害 (Alzheimer 〈アルツハイマー〉病、血管性認知症、Lewy 〈レビー〉小体型認知症)、せん妄	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第5章 I 「認知症」(p.217~224) 老年看護 病態・疾患論 : 第4章 A-4 「認知症をきたす疾患の診断と治療」(p.125~131) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-7 「器質性精神障害」(p.209~219) 臨床薬理学 : 第3章 R 「認知症(アルツハイマー病)」(p.191~195)
		b 精神作用物質使用による精神・行動の異常(アルコール依存症、覚醒剤・大麻精神病)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-8 「精神作用物質使用による精神および行動の障害」(p.220~225)
		c 統合失調症	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-2 「統合失調症」(p.165~183)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		<p>d 気分（感情）障害（うつ病、双極性障害）</p> <p>e 神経症性障害、ストレス関連障害（パニック障害、心的外傷後ストレス障害（PTSD）、適応障害）</p> <p>f 生理的障害、身体的要因に関連した精神障害または行動症候群（摂食障害、不眠症、ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群）</p> <p>g 小児・青年期の精神・心身医学的疾患、成人の人格・行動障害</p>	<p>精神看護学 [1]（精神看護の基礎）：第5章 C-3「気分〔感情〕障害〔双極性障害および関連障害群、抑うつ症候群〕」（p.183～192）</p> <p>臨床薬理学：第3章 S「うつ病・うつ状態」（p.196～202）</p> <p>精神看護学 [1]（精神看護の基礎）：第5章 C-4「神経性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」（p.193～203）</p> <p>精神看護学 [1]（精神看護の基礎）：第5章 C-5「生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群」（p.203～209）</p> <p>小児看護学 [2]（小児臨床看護各論）：第18章 B「おもな疾患」（p.493～506）</p> <p>精神看護学 [1]（精神看護の基礎）：第5章 C-10「神経発達障害群」（p.227～232）</p>